

## 追悼

## 名誉会員 田島清瀬先生、林 健児先生を偲んで

本協会の名誉会員林健児先生（東京理科大学名誉教授）は、平成24年12月12日に87歳で、名誉会員田島清瀬先生（早稲田大学名誉教授）は平成25年3月5日に85歳で逝去されました。謹んで哀悼の意を表します。



田島清瀬先生



林 健児先生

田島清瀬先生は本協会の淵源で、昭和52年に私立大学の3団体（日本私立大学連盟、日本私立大学協会、私立大学懇話会）を母体に設立された私立大学等情報処理連絡協議会の第2代会長に昭和58年に就任され、私立大学等の情報環境を整備・充実するため、関係諸機関に働きかけて国の財政支援の拡充に尽力されるとともに、基本調査委員会を設置して情報環境および情報機器の活用等について調査を継続実施し、大学・短大等の適切な情報環境の整備・促進に取り組まれました。また、ネットワーク組織研究委員会、情報処理教育委員会および知的資源開発促進委員会の設置、私情協大会の開催など情報機器を導入した教育の振興・普及の事業への取り組みにも着手されました。昭和63年には情報化による高等教育の充実・高度化を推進するための事業をさらに発展させていくため、日本私立大学連盟に依存していた事務局体制を見直し、事務局を第一山崎ビルに移転し、現事務局長井端正臣氏を主体とする独立した事務局体制を構築して、平成4年には社団法人化を実現するなど、本協会の活動基盤の確立にも取り組まれました。社会の情報化が急激に進展する中で、大学の情報化も進み、情報処理教育から情報教育へと変遷し、教育全体に情報通信技術が活用される状況の中で生じる諸課題にも先駆的に取り組み、「情報倫理教育の進め方のガイドライン」、「学術情報公開と保護に関するガイドライン」および「学生個人情報保護に関するガイドライン」など、大学の情報化のあり方に関する指針を作成して提言するなど、平成7年に退任されるまでの11年間余りの長きに亘って私立の大学、短期大学、高等専門学校等における情報教育の振興・充実に貢献されました。

林健児先生は昭和54年に私立大学等情報処理連絡協議会の会計監査委員に就任され、財務業務の適正化に努められました。また、昭和56年から管理委員、昭和64年には副会長に就任され、平成7年に退任されるまでの長きに亘って、会長を補佐され、私立の大学、短期大学、高等専門学校等における情報教育の振興・充実に貢献するとともに私立大学情報教育協会の事業の充実・発展に寄与されました。

名誉会員田島清瀬先生、名誉会員林健児先生のご功績と私立大学情報教育協会へのご厚情に感謝と敬意を表するとともに両先生のご冥福をお祈りいたします。

公益社団法人 私立大学情報教育協会 顧問・前会長 戸高 敏之